

令和5年度 学校評価報告書

園 名 松が丘幼稚園

1 教育目標

『元気な子・心豊かな子・たくましい子』
・自己を発揮し、のびのびと活動する子を育む
・友達と思いを伝え合い、心を通わせて遊ぶ子を育む
・自ら考え、工夫し挑戦しようとする子を育む

2 重点目標

「一人一人が主体的に遊び込める幼稚園をめざして」
～ 子どもの声から保育を見つめる ～
3 歳児 安心して生活する中で、好きな遊びを見つけて存分に楽しむ
4 歳児 安定した園生活の中で、自分の思いを出しながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
5 歳児 友達と思いを伝え合いながら、意欲的に遊んだり、取り組んだりすることを楽しむ

3 自己評価結果

分野領域	評価項目	幼稚園の取組状況・改善の方策
教育課程	一人一人が主体的に遊び込める幼稚園	幼児の気づきや試行錯誤する姿、達成感を味わっている姿に着目しながら、保育を見つめてきた。安心して遊びに没頭し、やり遂げようとする姿が見られ、子どもたちの主体性が育まれたと感じる。
子育て支援	親と子の交流や育ちの場としての役割、機能の充実	2 歳児保育体験『すくすく』は、回数が増すごとに参加者が増え、7 名の子どもたちが集える場となった。子どもたちが体を思いきり使って遊べる園庭開放の内容も検討していきたい。
学校園所連携	保幼小中連携の推進と小学校との円滑な接続をめざした取り組みの推進	今年度から、松が丘小学校区連携担当者会を立ち上げ、年間 3 回実施した。子どもたちの交流計画はもちろん、互いのねらいを共有したことで、育てたい部分が分かりやすくなった。
特別支援教育	一人一人に応じた支援の充実	様々な関係機関と連携を取りながら、個々に応じたかかわりや環境構成の工夫を心掛けた。また、保護者との連携にも努め、子どもの様子や成長を共有できたことは、支援の充実に繋がった。

4 学校関係者評価

やりたい遊びに夢中になったり、考えたり、友達と協力したりする姿を、様々な遊びの中で見ることができた。また、その力を行事の中でも十分に発揮しており、1 年間で大きな成長が見られた。

園の様々な活動を見たり、体験したり、保護者同士が繋がったりする場があることは、入園への安心感につながると思う。広く情報発信に努めてほしい。

園の主体的な取り組みは、小・中学校でも続く大切な取り組みである。また、円滑な接続のためにも小学生への信頼と憧れを感じられるような連携を進めてほしい。

登降園時等に、子どもの姿や園・家庭での様子を保護者と教諭が伝え合うことで、必要な対応を迅速に行うことができる。また、そのことが保護者の安心感にもつながっていると思う。

5 総合的な評価結果

今年度から 3 歳児保育と 4,5 歳児混合保育が同時に始まり、保育内容やクラスの運営など一つ一つ、職員で相談したり、確認したりしながら進めてきた。また、子どもたちのやりたいことを実現し、達成感を十分に味わえるように、できるだけ柔軟に対応するよう努めることもできた。今後は、学校園所・保護者の方との連携に加え、地域の方との連携をより深められるよう取り組み、小規模園ならではのよさを生かせるようにしていきたい。

6 総合的な学校関係者評価

1 年を通して子どもたちの気持ちや意見を丁寧に聴き、遊びや生活を進めてきていると感じた。一人一人の持ち味や輝く部分を生かせるような遊びやツールが行事の中にも盛り込まれていることも分かり、大切なことであると感じた。3 学年になったので、その中でのかかわりの深まりを充実させるのと同時に、公立幼稚園の取り組みやよさを発信する努力をしてほしいと思う。